

# 天地

ネットワーク テーブル 488号

天地シニアネットワーク 201

9. 2. 15

T E N T I T O D A Y		1
会員の広場	<感動して涙・津田>	2
	<パンガシウスが日本の水産業を救うか・林>	
連載作品		4
随 想	天のわざ、地のほまれー地球を測れ、宇宙を測れ 62. 今見えている世界	伊那 闊歩 4
歴 史	プロテスタントイズム (上)	赤羽 清志 9
歴 史	米国の統治の仕組みと大統領制、と建国の父たち (2)	佐川 雄一 1 1
随 想	「静聴雨読庵より」 (3)	尾関 陽四 1 4
随 想	『誰も見てなくても悪いことをしない社会』 (3)	臺 一郎 1 6
旅行記	そうだ京へ行こう・古刹の花物語 (60) 北野線の古刹4・竜安寺	大竹 漢洲 1 8
講演会	「奈良興福寺文化講座」「新三木会」	2 1
商品情報		2 2
事務局		2 3

\*\*\*\*\*

## T E N T I T O D A Y

\*\*\*\*\*

2月の金曜日、上野の東京国立博物館・平成館で開催中の「顔真卿 (がんしんけい)」に行きました。夕方に入りましたが(金曜日は終館が午後九時)、かなりの混雑で、今回一番注目されている「祭姪文稿 (さいてつぶんこう)」は、30分待ち状態でした。一番人気は避けることにしましたが、並んでいて前後に聞こえるのは中国語が圧倒的で、中国人の入館者が非常に多いのが覗えました。顔真卿は、中国唐代の政治家であり、書家です。王羲之と並び称される書聖だったそうですから、中国人の関心が強いのは当然なのでしょう。一方、空海の書など日本の国宝も出展されていましたが、こちらは空いていました。

\*\*\*\*\*

千葉・外房の白子で、母校のバスケットボールの合宿があり出かけました。ホテルは、展望、個室の温泉風呂がある立派なホテル、付属の体育館があり、ホテルのドアを出ると直ぐ隣という便利さ、コートは広く申し分なかったのですが、暖房がないうえに寒い日だったので、震えあがり一泊で早々に帰りました。温泉付きで、温かい布団で寝て、十分な食事をする

今の選手に対して、大学の構内に泊まり、学食で食事をし、練習する選手よりケガして寝ている選手の方が多いというような合宿をした昔々の世代は、多くを語れません。

\*\*\*\*\*

## 会員の広場

\*\*\*\*\*

### <感動して涙> 津田孚人

電車に乗っているといろいろな体験をします。12日(火)の夕方5時半頃、いつものように、JR常磐線に乗り、7号車の優先席に一番近い一般席に座っていました。前の電車が、途中駅止まりでしたので、最終駅の取手駅まで行くこの電車は、ラッシュ時ということもあって、かなり混んでいました。

電車が「新松戸駅」に近付き、武蔵野線へ乗り換える人たちが立ち上がりかけた時に、車内の緊急ブザーが鳴りました。数秒して「車内で緊急ボタンが押されましたので、止まります」と車掌のアナウンスが流れました。その瞬間です。優先席の方で女性の大きな悲鳴、<痛い>というのとは分かりましたが、あとの大きな喚き声は、意味不明で分かりません。

何事かと思った瞬間、

「妊婦が破水した」という年配の女性の声が聞こえました。続いて、「横にしましょう」「どなたかタオルはありませんか」と複数の女性の声が聞こえてきます。

「タオルありますよ」と男性の声。

女性の悲鳴は一段と大きくなり、続きます。近くの中年男性が、携帯電話で警察に電話、「新松戸駅近くで停車している」「新松戸駅の駅員に7号車の優先席ドアのところで待機するように伝えて」と大声でいうのが聞こえます。

「車内にお医者さんはいませんか」「いなかったら前の車両に伝えてください」女性の緊迫した声がつづきますが、身動きもあまりできない状態の車内、応答はありません。

数分して、駅の手前で停車していた電車は、静かに動き「新松戸駅」の定位置に止まりました。ドアが開くと、駅助役が車椅子を用意して待っていました。

<車椅子は乗れない、担架の用意を>という声が聞こえます。駅助役が直ぐに<私の要請で救急車を呼びます>と言い電話、さらにラッシュ時で乗り換え客も多く車内も駅も混雑しているので、事態が全く掌握できていない様子の車掌(若い女性)に、<7号車で緊急の救護を行っているので車内アナウンス>をするように指示。車内に<急病人が出て、電車の出発が遅れてすみません>とややピントはずれの車掌のアナウンスが流れる。

発生直後に車内から乗客がかけた警察への電話で手配してくれたのでしょう、数分もしないうちに救急隊が到着しました。すぐに女性を収容し、救出は終了しました。駅は大混雑だったのでしょう。電車は、直ぐに発車します。そして車内に車掌のアナウンスが流れました

「この電車は、定刻を12分遅れで出発しました。電車が遅れて申し訳あ

りませんでした」

一方、駅の助役は、救急隊が、妊婦を收容したときに、電車を待つ人への詫びと、救護にあたってくれた乗客への感謝をマイクで放送しました。ベテラン駅員の、感謝とお礼のアナウンスに、<助役さんもご苦労さん>と思わず拍手を送りたい気分になる。

車内の緊急ブザーの音が小さかったので、恐らくボタンを押したのは、妊婦さんだっただと思います。救助されるまで悲鳴を上げ続けていました。何もできない周辺の乗客には、とても長い時間のように思えたのですが、<12分遅れで出発>との車掌のアナウンスを聞き、そんなに短い時間だったかとむしろ驚きました。

その間、タオルが無いとの声に、コートを脱いで差し出そうとした若い女性もいましたし、駅で、事情を知らずに駅員や他の乗客に文句を言い、「妊婦とは知らなかった。ごめんな」と謝っている男性もいました。

電車は、さしたる混雑もトラブルもなく、12分の遅れで出発しましたが、たまたま乗り合わせた一般の見ず知らずの人たちが、電車の中で突然倒れた他人を、一団となって協力して助け、励ます。そして即座に対応できる公的なシステム、すぐそばで座っていただけですが、一連の流れを見聞きしていて、感動し、涙が出ました。

電車が次の駅に到着したとき、駅のアナウンスで、新松戸駅で救出に協力してくれた・・・さん、当駅か、次の駅で降りてくださいと呼ばれるのが聞こえました。アナウンスで降りた方は、かなり年配のご夫婦のようでした。

勿論、破水した女性と、お腹の赤ちゃんが無事であったかどうか、一番気になっています。

\*\*\*\*\*

### “パンガシウスが日本の水産業を救うか” 林 英一

現在、日本の水産加工業は苦境にある。その大きな因は、原料不足にある。漁業統計一覧で見ると、平成22年に412万トンあったものが平成28年には、326万トンと約2割減っている。そこで最近注目されるのが“パンガシウス”である。

“パンガシウス”とは聞きなれない言葉だが、某スーパーでは、「骨取り・皮なし/フライ・ムニエルなどに」とうたい、また「白身魚(ベトナム産パンガシウス)くせが無くふわっとした食感」と表記して、冷凍のスキンレスフィレーが4枚280gで販売されている。

実際なかなか美味で食べやすい魚で和食・洋食どちらにも向く。種を明かせばナマズの一種であるが尾鰭に特徴があり、日本のナマズとは姿形が異なる。30年近く前にベトナム産のナマズが店頭には並ぶところまで行ったが色が悪く若干臭いもありで大々的な売り出しにはいたらなかった。ただし、現在出回っているものとは種類が異なっている。

現在目にするナマズはPangasius 属だが多くの種類がいてベトナムではBASAという名称が定着、現地大学での研究や日本技術者により技術的に定着している。1996年には養殖が本格化、メコンデルター帯に100の企業体がある。養殖はベトナム全土で100万トン近い水揚げがあり、水産業界

は活況を呈している。製品は世界各国に輸出されており簡単な天日干しの開きものから衛生的な近代工場で大規模に生産する冷凍品やミール、オイルなどがある。

日本の JICA の支援もあって東南アジア一帯でも養殖をしており、特にインドネシアの台頭が最近著しい。インドネシアでは池が酸性でテラピアやコイには向かず、このナマズが定着した。東南アジアでは、生育の早いアフリカナマズの導入が研究され、また味の良い日本ナマズのテスト生産も行われている。植物性の餌でも育ち、味の良い、パンガシウスの天下が続くが、最近成長が早く、餌料効率も良く、水も止水に近い池でも育つ Tra(チャー)と呼ばれるナマズが中心である。学名が異なっているものの、ともに現地ではバサ(BASA)と呼ばれている。

ベトナムの VASEP1 の資料によれば、2008年以降100万トンを超える養殖ナマズが水揚げされ、さまざまに加工されて5大陸138ヶ国に輸出されている(その価値は1.71billion USD という。EU, USA, HKあたりが大ユーザーで日本も約6000トン輸入)。

ベトナムでは、100万トンの水揚げからの加工残滓が30万トン近くあり、これが現在フィッシュミールやフィッシュオイルとなっているが、このブイッシュミールなどに加工される残滓の一部からわれわれの口に入れる加食部を取り出す事は技術的に不可能ではない、十分採算の取れる事業になると見込んでいる。

\*\*\*\*\*

## 連 載

\*\*\*\*\*

### 天のわざ、地のほまれ

#### —地球を測れ、宇宙をはかれ—

伊那 闊歩

## 62. 今見えている世界

空気が澄んで無数の星々の囁きが聞こえてきそうな冬の夜、凍てつく寒さを我慢し戸外に出て見上げてみれば、すぐにオリオン座の三ツ星(ミンタカ、アルニタク、アルニラム)が南天に整然と美しく並んでいるのが見つかるであろう。この三ツ星をはさんで二つの明るい星—ひとつは上側に赤く、もうひとつは下方に青白く輝いているのが目に入ってくる。どちらも1等星(全天で21個ある)、赤い方をベテルギウスといい、青白い方はリゲルと名付けられている(\*1)。どちらも途轍もなく巨大な星で、リゲル(白色超巨星)の直径はわが太陽の80倍もあることがわかっている。その表面温度は12000℃、激しく燃え(核融合反応を続け)ながらエネルギーを浪費しつつあり、そのためわりと短命らしく1000万年も経てばエネルギーを失って、超高密度星のひとつ=白色矮星(\*2)になるものと考えられている。

一方、赤色超巨星のベテルギウスの直径は太陽のそのの1000倍、それを太陽の位置に持ってくると水星、金星、地球はおろか火星の軌道さえもその内部に呑み込まれるほどのデカさなのだ。その表面温度は3500℃程度らしく、

太陽のそれよりかなり低いので炭火の熾(オキ)のように妖しく赤く燃えているが、毎秒太陽の放つエネルギーの 10 万倍もの膨大なエネルギーを空費しながら、間もなく超新星爆発によって華々しくその寿命を全うするものと考えられている。

地球からベテルギウスまでの距離は 650 光年と見積もられていて(\*3)、もし超新星爆発がこの距離で起こったならば、地球への影響がどれほどのものになるか、かなり深刻な事態をひきおこすかもしれないと言われている。ある日突然、天空の 1 点が音もなく強烈な光を放ちはじめるのだ。その明るさは満月ほどのものになると予想され、昼でもよく見える。爆発に伴って生ずるガンマ線バーストをまともに浴びることはないと言われている(\*4)が、大量の電磁波と(少し遅れて)危険な宇宙線を数か月にわたって浴びることになる。

観測技術の進展により、現在、巨大望遠鏡で生のベテルギウスの姿を捉えることが出来ていて、最新の観測によれば球体であるはずのベテルギウスの形が崩れ、不気味な大きなコブが出来ているらしい。それだけベテルギウスは熱的にも力学的にもたいへん不安定な状態にあり、いつ超新星爆発を起こしても不思議ではないという。じつはもうすでにベテルギウスは超新星爆発を起こし消滅しているかもしれない。距離が 650 光年もあるから、爆発が江戸時代にあったとしても、その情報が届いていないから地上ではそれを知りようがない。

このあたりのことについてミンコフスキー・ダイアグラムを使って調べてみよう。3次元空間の原点  $x = y = z = 0$  にある点光源から時間  $t = 0$  に光が発したとする。光は球面となって四方八方に広がる。この球面上の 1 点の座標を  $(x, y, z)$  とすれば原点からの距離  $\ell$  の 2 乗はピタゴラスの定理により

$$\ell^2 = x^2 + y^2 + z^2$$

で与えられるが、この球面に光が到達したときの時間を  $t$  とすれば、光速を  $c$  として光の波面の座標は方程式：

$$c^2t^2 = x^2 + y^2 + z^2 = \ell^2$$

をみたす。これまでどおり空間は 1 次元として  $y, z$  を省いて書けば

$$c^2t^2 = x^2$$

これを解いて

$$ct = x \quad \text{または} \quad ct = -x$$

を得る。これらは、光の道を表す方程式である。ここでさらに光速  $c = 1$  とし、 $t$  を縦軸とし  $x$  を横軸としてミンコフスキー・ダイアグラムに書き入れたものが fig.1 の原点をとる 2 本の青線である。地球は  $x = 0$  の位置にあって空間的な運動がないとすれば、時間だけが過去から未来へと動くだけなので、地球の「世界線」は時間軸 ( $t$  軸) 上にあり、それは図の原点をとる縦線 (緑線) で表される。一方、ベテルギウスは 650 光年の彼方にあり、空間的な運動がないとすれば、ベテルギウスの世界線は、図の赤い縦線として表される。図の赤線は  $x$  軸上の点 P (時間  $t = 0$ , 空間  $x = 650$  光年) で途切れている、つまり、ベテルギウスは時間  $t = 0$  で超新星爆発を起こし消滅したことを表している。P から出た光は、図の矢印のついた青線に沿って Q ( $t = 650$  年、 $x = 0$ ) に届く。つまり、超新星爆発の情報は、650 年後に地上に届く。現在  $t = 0$  で地上において見えているベテルギウスの光は、図の赤線と青線が交わる (650 年前の) 点で発した光なのだ。

こうしてみると、650 光年はなれた星の光は実は 650 年昔の光なのだ。3000 光年はなれた星の光は、3000 年前の光であり、138 億光年離れた星の光は、138 億年昔の宇宙創成時に発した光なのである。

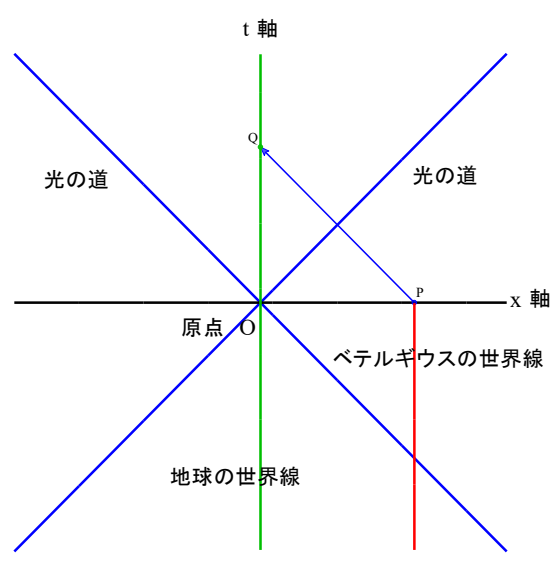


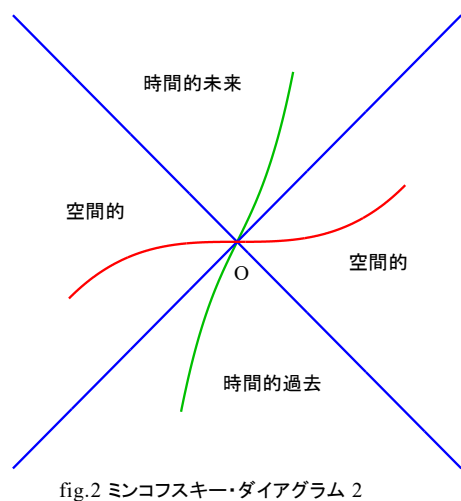
fig.1 ミンコフスキー・ダイアグラム

もう一度数式に戻って  $s^2$  を次のように定義しよう :

$$s^2 = c^2 t^2 - x^2$$



この  $s^2$  とミンコフスキー・ダイアグラムを使って「世界」を目に見える領域と見えない領域に区分けしてみよう。その結果が fig.2 である。

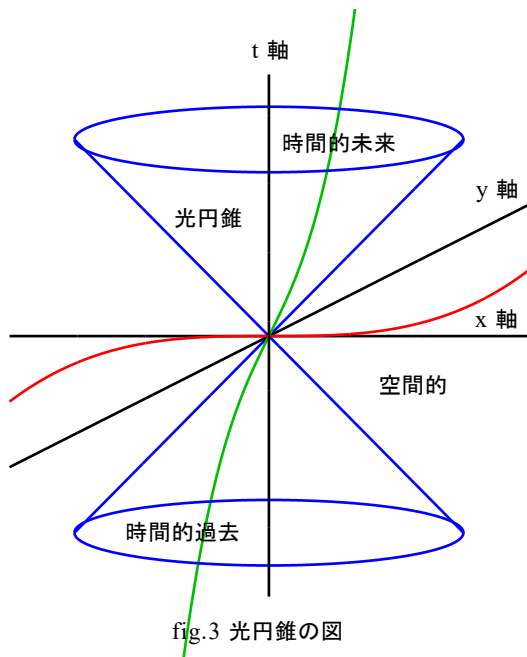


$s^2 = 0$ , すなわち  $ct = x, ct = -x$  は光の道 (fig.2 の青線) である。この図では光速  $c$  は  $c = 1$  として時間の単位は「年」、距離の単位は「光年」で測っているものとする。この光の道を境界として世界は4つの領域に分かれている。 $[s^2 > 0, t > 0]$ によって区分けされる領域は図の「時間的未来」の部分に対応する。「時間的過去」の領域は  $[s^2 > 0, t < 0]$ , 「空間的」な領域は2つあるが、すぐ後に示すようにこの2つはつながっていて  $[s^2 < 0]$ に対応する領域である。

これからわかるのは次のようなことである：fig.2 の赤い曲線は空間的領域にあって、赤線上の原点を除くどの座標  $(t, x)$ からの情報も原点(地球)には届かないことがわかる。もし届いたならその情報のスピードは光速を超えていたのである。如何なるもののスピードも光速を超えることはないのであるから、赤線上の出来事は地球上では知り得ないのだ。また、地球を出発した如何なる宇宙船も赤線上のどの点にも到達することはできない。この世には赤線で示されるような宇宙船の航跡はないのである。一方、緑線上の座標  $(t > 0, x)$ には、地球を時間  $t = 0$ に出発した宇宙船での旅行が(技術的なことは別として原理的に)可能である。図の緑線のような宇宙船の航跡はあり得るのだ。

fig.2 は時間・空間それぞれ1次元の図であったが、空間の次元を2次元として時間・空間3次元に拡張したミンコフスキー・ダイアグラムを書いて

みよう。それが fig.3 である。



図には青色の円錐がふたつ、その頂点を原点で接触させて3次元的に描かれている。円錐は適当なところで切ってあるが、上下に無限にのびている。これを光円錐(ライトコーン)とよび、原点に地球があるとすれば、地球を時間  $t = 0$  に発した光は上方のコーンの表面上を伝わって宇宙に拡がって行く。

下方のコーン上を進んできた光は  $t = 0$  に地球に届くのだ。空間的な領域で起こったことは、地球上では  $t = 0$  の時点で知ることはできない。ベテルギウスが空間的領域で超新星爆発を起こしても、 $t = 0$  (現時点)においてそれを知ることはできないのだ。宇宙旅行は2つのライトコーンの内部においてのみ可能(緑線)なのである。

以上、空間2次元、時間1次元の「世界」をミンコフスキー・ダイアグラムに描いてきたが、現実には空間は3次元であるから、時間と合わせて総計4次元の「世界」を描かなければならないが、それは出来ない。われわれはせいぜい3次元時空を描いて、4次元「世界」を推測しなければならない。それが簡単なことではないということをご想像いただけたらと思う。ここまで  $s^2$  を時間と空間から成る「世界」を区分けする目安として利用してきた。次回には  $s$  が相対論的距離を、 $s/c$  が相対論的時間の目安を与えるということについて解説しよう。

(\*1)

三ツ星をはさんで対峙していると見られるところから、日本では古来、平家星(赤)、源氏星(白)と呼ばれていた。ベテルギウスはアラビア語で巨人才



リオンの肩、リゲルは同じく足（踵）を意味するという。冬の夜空に華麗なスバル（7人の天女プレイアデス）を守るべく猛牛と戦う巨人オリオンの一大スペクタクルを眺めながら想像をめぐらせるのも一興である。

(\*2)

オリオン座の左下方にオオイヌ座があり、その主星シリウスは全天で（太陽は別として）最も明るい恒星であるから容易に見つけることができる。シリウスは地球ほどの大きさの小さな恒星を伴として引き連れており、それをシリウスの伴星またはシリウスBとよんでいる。シリウスBは典型的な白色矮星（white dwarf, 白い小人）で、その大きさは地球くらいのものでありながら、その質量は太陽と同程度なのだ。驚いたことに、その表面重力が地球表面のその116,000倍もあり、平均密度は40万グラムもあるという。星本体を膨らませておくだけの核エネルギーを失い、星の終焉に向かってじわじわと固まっていくのだ。わが太陽も一時は膨れて、その寿命が尽きる前に水星、金星、地球を呑み込み、多くのガスを放散しながら、その後は縮んでゆき、そのなれのはてが白色矮星であるという。白色矮星が炭素で出来ていれば、そこに巨大なダイヤモンドが生成される可能性があることが指摘されている。一方、超新星爆発の後に、白色矮星とは異なったもうひとつの超高密度星=中性子星が残されることがある。電氣的に中性な中性子だけで出来上がった超高密度星で、その密度が1億キログラムを超えるものもあるという。

(\*3)

天体観測において天文台が最も苦手とすることのひとつが、三角測量が不可能な遠方の星までの距離の測定なのである。ベテルギウスまでの距離は350光年とされていたが、最近では650光年に改められている。距離の測定には100光年ほどの誤差が常につきまとう。一方、遠方の恒星の化学組成や速度などはきわめて精密に測定できるのだ。ところで、アンドロメダ銀河は秒速122kmでわれわれの住む天の川銀河に近づきつつあることがわかっているが、両銀河間の距離が不明確なのである。アンドロメダ銀河までの距離は、宇宙膨張の発見者エドウィン・ハッブルの測定により、90万光年とされていたが、現在の観測では約230万光年となっている。誤差の大きさは今なお100万光年ほどもあると考えられる。

(\*4)

紫外線やエックス線よりも短い波長領域にある電磁波をガンマ線といい、通常、それはウランやラジウムなど放射能を持つ元素から出る高エネルギー放射線として観測される。電磁波はその波長が短ければ短いほどエネルギーが高いのだ。超新星爆発の際に大量のガンマ線が放出されるが、四方八方に放出されるのではなく、ある特定の方向にのみ強いガンマ線ビームとなって放出されると考えられ、これをガンマ線バーストとよんでいる

\*\*\*\*\*

プロテスタンティズム（上）

赤羽清志

参考 『プロテスタンティズム』 深井智朗 中公新書 2017.3  
『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』  
マックス・ヴェーバー 大塚久雄訳 岩波文庫 1989.1 改訳第1冊

#### 1. 2017年は宗教改革500年記念の年。

1517年、サンピエトロ大聖堂修復のため、教皇レオ10世は贖宥状 *Abläss-brief* を売り出し、これを買ったものは天国行きが保証されるとした。修道士マルティン・ルターはこれに納得できず、マインツ大司教アルブレヒト・フォン・ブランデンブルクに対し書簡を送り「95か条の提題 *These*」を同封した。

通常 *Reformation* は宗教改革と訳されているが「再び形成する」「修繕する」の意味であり、新しい宗派の創設ではなかった。プロテスタントは「抗議する人々」、「文句を言う人々」の意味であるが、現在に至るまでドイツでは福音主義者 *Evangelisch* が使われている。

#### 2. 中世キリスト教時代人々の最大の関心事は「死」（ペストの脅威など）であり、死後救われて天国へ行くこと（地獄に落ちたくない）を強く希望した。教会のみが天国への道を知っていて、その教えに人々は従わなければならなかった。

罪を犯すことは神に対して損害を与えることであり罰を受けるが、ゲルマン法では罰の実行に「代理」が許される。贖宥状は罰を代行したことの証書であってかって免罪符と訳されたのは間違いである。

#### 3. 中世ドイツの神聖ローマ帝国の皇帝はローマ教皇によって戴冠されねばならず、帝国は「ローマの牝牛」と言われ、教皇が売り出す贖宥状のマーケットとして搾取の対象であった。当時は、政治・宗教・経済の社会システムに制度疲労が著しく、リフォームが必要とされる状況下にあった。

アルブレヒト・フォン・ブランデンブルクはマグネブルク大司教とマインツの大司教を兼務しており、神聖ローマ帝国における贖宥状の販売を独占していた。マルティン・ルターはヴィッテンベルグ大学の聖書講義で、人は金ではなく心から悔い改めることが必要であると説き、贖宥状を買っても神に救われることはないと言った。この主張に対してバチカンのローマ主義者（神聖ローマ帝国内での金蔓を失う）や、神聖ローマ帝国内の利権者は強く反対したが、都市部の商人、諸侯、騎士らは賛同した。

カトリックのリフォームを主張し、帝国議会での決定（1521年 ルターを異端とした「ヴォルムス勅令」、1526年 改革容認の取り消し）に抗議した諸侯や帝国都市などがプロテスタントと呼ばれた。

#### 4. ルターの書簡は純粋な宗教的な問いであったが、活版印刷革命（ヨハネス・グーテンベルグ）のおかげで2週間で全ドイツに知れ渡った。アルブレヒトは直ちに書簡をバチカンに転送、1518年調査が始まった。

ルターは「キリスト者の自由について」など宗教改革3大文書を著し、「もし教皇が過ちを犯す可能性があるとするれば何によって過ちを正せばよいか—それは聖書である」と主張した。しかし当時の聖書はラテン語版で

あり、高価で個人で所有できなかった。ルターは 1522 年新約聖書を、1534 年旧約聖書をドイツ語に翻訳した。これによってドイツ語の文法や表記法が統一された。

宗教改革の 3 大原理は、①聖書のみ ②全信徒の祭司性 ③信仰のみ（神は自ら信ずるものを義とする）。

1521 ヴォルムス帝国議会 ルターを異端とした。

1525 ルター 修道女カタリーナ・フォン・ボラと結婚。

1524~1525 ドイツ農民戦争 ルターは宗教や神の名のもとで戦ってはならないとして、一揆の徹底的弾圧を求めた。

1530 「アウグスブルクの信仰告白」 教会の悪習、聖書中心主義、義認強調をまとめ、皇帝カール 5 世の前で朗読。

1548.2.18 ルター死去。

## 5. 宗教改革の終わり

1555 「アウグスブルクの宗教平和（あるいは宗教和議）」 神聖ローマ帝国内で領主は自らの領邦の宗教を決定できるとされ、その領邦の支配者の宗教がその領邦の宗教となった。これに対しバチカンに法的拘束力を認めなかった。

ルターの後継者たちは、生前のルターとは明らかに異なるスタンスで受けとめ、自らの法的地位の正当性を主張して、新しい一つの宗派としてプロテスタントが生まれたため、神聖ローマ帝国内に二つの宗派が存在することとなった、

新しい宗派プロテスタントは、その教えの正しさ、権威を教皇ではなく聖書に求めたが、すべてのキリスト者は司祭としてみなされ聖書を読み解釈してよいと主張したので、聖書の異なる解釈によっては分裂が生ずる宗派となった。

改革派 フルドライヒ・ツヴィングリとマルティン・ブツァーが改革派と呼ばれる立場の始まりであった。その改革運動はスイスのジャン・カルヴァンによってさらに明確な立場をとるようになり、大きな影響力を持つことになった。スイスの改革者たちは聖餐（教会が伝統的に制度化していた秘跡の一つ）について、パンとぶどう酒の中に復活したキリストが神秘的・魔術的な力が宿っているといた解釈を否定し、キリストの十字架の犠牲を想起しこの儀式をキリストが現臨しているしるしとして理解した。

対立が深まる中、相互理解を深めるため 1529 年マールブルク会議が開かれたがそれは決裂し一致への道は途絶えた。

ルター派は「二王国説的立場」に立ち、神による二つの世界を想定し、国家の世俗政治にも神の支配が働くが、世俗的なものの相対的な自立性を認めた。

スイスの改革派は、世界はキリストの王的支配によって政治的な行政機構も、福音の伝播とキリストによって制定された律法に対して義務を負っていると主張した。

カルヴァンの勢力はドイツでは伸びなかったが、東欧、オランダ、フランス（ユグノー）、スコットランド（長老派）において影響力を拡大した。

イングランドでは、1543 年ヘンリー 8 世がバチカンから離脱、英国教会を

設立してアングリカンと呼ばれた。16世紀から17世紀にかけてプロテスタントの影響を受けてアングリカンの改革や制度批判を行ったグループはピューリタンと言われるようになった。

プロテスタンティズムとは16世紀の宗教改革から生まれ、自らを宗教改革者たちの抗議の継承者と理解するすべてのキリスト教会・諸グループ・運動を表す一つの集合体であるが、ただ一つのプロテスタンティズムが存在しているわけではない。

\*\*\*\*\*

## 米国の統治の仕組みと大統領制、と建国の父たち（3）

佐川雄一

### II 合衆国憲法について

#### 1. 現在有効な成文憲法として世界最古の合衆国憲法

合衆国憲法は、現在有効な成文憲法としては世界最古のものであり、合衆国50州の州憲法の制定に影響を与えたばかりでなく、その後、世界各地の多くの憲法の規範となってきた。アメリカ憲法に持続力を与えているのは、その簡潔性と柔軟性である。この憲法は当初、13州の住民400万人を統治するための枠組みを提供するものとして作成されたが、その基本的な規定は、極めて堅実に構想されているため、その後僅か27の修正条項を加えただけで、現在は大西洋岸から太平洋岸まで広がる多様な50州の3億2500万人の要求に応えている。

しかし、すべてが順調に運んだわけではない。制定された合衆国憲法は、人民にとっての基本的な権利が憲法上曖昧にされたまま、批准されていたので、人民に不安・不満を残した。それは、米国の理念である「人民を保護する人権規定」（権利の章典）を憲法に網羅しなかったことである。憲法の起草者たちは、「人民の自由を前面に出し、中央政府に供与された権限は限定的なものにする」として、「人民を保護する人権規定」（権利の章典）を敢えて憲法で確定する必要はないと考えていたのである。しかし、憲法の制定前から、人民の間では、「いかなる政権の下でも個人の権利が保障される」として権利章典を憲法に組み入れる声が広がっていた。初代大統領：ジョージ・ワシントンの就任から僅か2年後の1791年、アメリカ合衆国憲法に“権利の章典”（The Bill of Rights）とよばれる10カ条の憲法修正条項を付け加えることになり、憲法修正第1条～第10条が確定する。これにより、信教・言論・出版・集会の自由、武器保有権、兵士宿営の禁止、不合理な捜査・逮捕の制限、刑事事件の権利、公平裁判の権利、残酷で異常な刑罰の禁止、等々、人民に対する基本的な権利が憲法で保障されることになった。

#### 2. 合衆国建国の理念を盛り込んだ「憲法前文」

合衆国憲法の起草者の念頭には、いくつかの明確な目標があった。彼らはそれを、6つの要点を記した、52語から成る「憲法前文」に、明確に盛り込んだと言われている。

前文：

われら合衆国の人民は、①より完全な連邦を形成し、②正義を確立し、③国内の平穩を保障し、④共同防衛に備え、⑤福祉全般を増進し、⑥われらとわれらの子孫に自由のもたらす恵沢を確保する目的をもって、アメリカ合衆国のために、この憲法を制定する。

We, the People of the United States, in order to form a more perfect union, establish justice, insure domestic tranquility, provide for the common defence, promote the general welfare, and secure the blessing of liberty to ourselves and our posterity, do ordain and establish this Constitution for the United States of America.

先ず、われら合衆国の人民 (We, the People)、この三語の中に含まれているのは、人民が、自分たちの憲法を制定するという強い意志の確認である。しかし、憲法で規定する“人民”とはいかなる人を指すのか。婦人、奴隷はどうなっているのか、その後の度重なる修正を経て人民の範囲が拡大し、「憲法前文」はすべての国民に適用されていくことになる。米国憲法は、施工後、27回の修正があったが、その大半は人民の範囲拡大と平等な権利の供与に関連した修正である。

「より完全な連邦を形成し、-----」

どの州も、11年前の1776年に英国から分離して以来行使してきた州の主権を維持することを強く望んだ。憲法の起草者たちは、州民の日常生活を規制するすべての権限を各州に維持させることによって、それを達成させた。ただし、こうした権限が国家全体の必要や福利と対立しないことが前提だった。このような権限の分離は、「連邦主義」と呼ばれ、今日に至るまで本質的には変わっていない。教育、公衆衛生、事業組織、労働条件、結婚と離婚、地方税、通常の警察権など、地域的な業務における各州の権限は、極めて広く、十分に認識され、受け入れられている。

「-----正義を確立し、」

合衆国憲法は、人を富や地位で区別しない。すべての人は法の前で平等であり、法に違反した場合、誰もが平等に裁きと懲罰を受ける。財産、法的な契約、および商業上の取り決めに巡る民事紛争に関しても同様である。法廷が万人に解放されていることは、権利の章典に盛り込まれた極めて重要な保障のひとつである。

「----- 国内の平穩を保障し、」

米国が激動の中で誕生したこと、そして西部辺境が未開拓の状態だったことは、米国民に、この新国家が発展し繁栄するためには国内の安定が必要であることを確信させた。合衆国憲法によって作られた連邦政府には、各州を外敵の侵入および争乱や暴力から守るだけの力がなければならなかった。各州政府は、概して州内の秩序を維持するに足る力を備えていたに過ぎなかったが、その背景には、平和を維持するために必要な措置を取る権限を憲法によって与えられた、連邦政府の強大な力の存在がある。

「----- 共同防衛に備え、」

当初、「共同の防衛」を提供するという憲法の目的は、主として、アパラチア山脈を越えたすぐ先の領土を開拓し、そこに住むアメリカ先住民との和

平を交渉することであった。しかし、ほどなくして起きた 1812 年の米英戦争、フロリダにおけるスペインとの衝突、そして 1846 年の米墨戦争によって、軍事力の重要性が浮き彫りにされた。

米国の経済的・政治的な力が増すとともに、その防衛力も強大になった。憲法は、防衛の責任を、立法府と行政府に分担させている。すなわち、連合議会だけが、宣戦を布告し、防衛のための資金を充当する権限を持つ一方、大統領が軍隊の最高司令官であり、国家防衛の主な責任を負担する。

注：憲法（第 1 条第 8 節 11）では、「戦争を宣言する」役割・権限が連合議会にあることが明確であるが、兵士を戦闘地域に派遣する、戦争を布告する決断の多くはこれまで大統領のレベルで行われてきた。決断までに時間を要すれば、米国の権益・米国市民の安全が損なわれるとする考えが大勢を占めているためである・

「----- 一般の福祉を増進し、

独立戦争が終わった当時、米国は経済的に困難な状況にあった。国家の資金は枯渇し、信用は不安定で、紙幣は事実上無価値になっていた。商工業はほぼ停止状態となり、各州および連合政府は多額の債務を抱えていた。新たな連邦政府がまず直面した責務のひとつが経済を建て直すことだった。憲法第 1 条第 8 節 議会の権限は、「連邦議会は次の権限を有する。合衆国の国債を支払い、共同の防衛および一般の福祉に備えるために、租税、関税、一般税、消費税を賦課徴収すること」と規定している。この徴税権によって、政府は戦債を支払い、通貨を安定させることができた。

「----- われらとわれらの子孫に自由のもたらす恵沢を確保する目的をもって、

個人の自由の重視が、この新しい共和国の顕著な特色のひとつであった。米国民は、多くの政治的あるいは宗教的抑圧を逃れてきた人々であったため、新世界で自由を保持することに対する硬い決意を持っていた。合衆国憲法の起草者たちは、連邦政府に権限を与えるに当たり、「国家および州」政府の権限を制限することによって、すべての人民の権利を守ることに注意を払った。その結果、米国民には、各地を移動する自由、職業・宗教・政治的信条について独自の決断を下す自由、そして、そうした権利が侵害されたと考えたときには裁判所に正義と保護を求める自由が付与されている。

### 3. 合衆国憲法の構成

アメリカ合衆国憲法は、前文、本文、修正条項の 3 つの部分からなる。

本文は 7 条からなる。ここでいう「条 (Article)」は、日本の法律でいうところの「章」に相当し、多くの条は、いくつかの「節 (Section)」に分かれている。

アメリカ合衆国憲法の改正は、従来の規定文章を残したまま、修正内容を修正条項として、それまでの憲法典の末尾に付け足していく方法を採用。修正条項は、順次「第 1 修正 (Amendment I)」「第 2 修正 (Amendment II)」と番号が付されていく。

米国の憲法は施行から 230 年が経つが、18 世紀末に整備された憲法の骨格が今尚有効に機能していることは我々日本人にとっても他山の石とすべきではなかろうか。さらに、1787 年に確定した合衆国憲法に使用されている言葉



はその後変更されることなく現在に至っている。

#### 4. 合衆国憲法の修正について

「連邦議会は、上下両院の3分の2が必要と認める時は、この憲法に対する修正を發議し、または全州の3分の2の議会の請求がある時は、修正發議のための憲法會議を招集しなければならない。いずれの場合でも、修正は、全州の4分の3の議会によって承認されるか、または4分の3の州における憲法會議によって承認される時は、あらゆる意味において、憲法の一部としての効力を有する」(第5条 憲法修正手続き) これら一連の手続きで承認を得るのは困難であるため、憲法が批准されて以来、現在までに修正は27回しか行われていない。このうち、1800年以降に行われた修正は16回に過ぎない。

これに対し、州政府の憲法修正は、合衆国憲法とくらべると容易である。なぜなら、大半の州では、州全体の投票で有権者の過半数の賛成が得られさえすれば修正できるからである。

そのため、合衆国憲法の大まかな記述と対照的に、州憲法は極めて詳細かつ具体的な内容を定める傾向がある。

\*\*\*\*\*

「静聴雨読庵より」

尾関陽四

#### 「生きがい」の5つの型 (3)

=24= 「やあ、いらっしやい」

「また、お邪魔します」

「人の生きがいには、いくつかの『型』があるのではないか、という話から、自己実現と社会貢献の型をこれまで検討してきました」

「ほかに、世界観照もあるという話だったね」

「うん。われわれの世代のように、自己実現や社会貢献を卒業した後に、個人として求める生きがいが世界観照で、世界をじっと見つめて、その平和や安寧を祈ることを生きがいとするものだ」

「中には宗教にすがる人もいようし、折り鶴を折り続ける人もいるね」

「うん。それでいいのだと思う」

=25= 「でも、周りを見渡してみると、自己実現にも社会貢献にも世界観照にも縁がなく過ごしている人が結構多いよ」

「サラリーマンを引退した人の中には、相変わらず、株・ゴルフ・マージャンにうつつをぬかしている人が多いね」

「そういう人達に話を聞いてみると、思わぬ発見がある」

「それは？」

「彼らは、一様に、家族を大切にしていることだ」

「若いころは子育てに熱中して、一流のサラリーマンや一流の専門職に育てあげる夢を見たものだが」

「今では、家族愛は、子育てではなく、『孫の溺愛』となって現れる」

「確かに、孫を育てるといっても、孫を一方向的に可愛がる人が多い」

「それを生きがいとしている人も多いので、その生きがいの型を『家族回帰』と名付けよう。

= 26 =

「もう一つ忘れてならない生きがいに「趣味」があるのではないだろうか」

「うん。確かに、趣味は人生のあらゆる段階でストレスを解消するのに不可欠だ」

「ただ、趣味を第一の生きがいという人は世間から笑われる」

「3LDK の自宅の二間を使って、プラモデルを展示して悦に入る人だとか」

「休日のたびに家族を放り出して、鉄道乗りつぶしの旅に出るとか」

「趣味は人生に不可欠だが、それを第一義に考えると、世間のつまはじきに遭う」

「でも、われわれの世代のように、自己実現や社会貢献を終えて世界観照の域に入っているものにとって、趣味に没入することも悪くない」

「それでは、「趣味没入」を第 5 の生きがいの型にするとしよう

= 27 = 「生きがいの 5 つの型を見出したところで、人がどの型にどの程度あてはまるかを見てみよう」

	生 き が い の 型				
	自己表現	社会貢献	世界観照	家族回帰	趣味投入
私		○	◎		○
君	◎				
A				◎	◎
B		○		◎	
C		◎		◎	
D	◎	○			
E				◎	
F				○	○
G					○
H	◎	○			
I	◎	○			○
J	○				◎

(◎が主要な生きがい、○が補助的な生きがいだね)

「私は世界観照が主で、社会貢献と趣味没入にも関心がある」

「私は自己実現が主か」

「専門職か芸術家のタイプだね。サラリーマン上がりには珍しい」

「A~J は皆実在の人物なの？」

「そう」

「こうして見ると、家族回帰を主としている人が多いね」

「併せて、自己実現に依然として奮闘している人も多い」

「本当だ」

「これが、現代日本の老人の生きがいの見取り図なのだろう」

二 28 二 「以前から、個々の生きがいの型に優劣はないと強調してきた

が、ここで、少し訂正が必要なようだ」

「というと？」

「明らかに、自己実現と社会貢献の2つが高度な生きがいで、世界観照は老年になってやむなく作り出した生きがいだ」

「家族回帰と趣味没入は？」

「両者とも、人生のどの段階でも現れる生きがいが、これらを主要な生きがいだというには抵抗がある」

「あくまでも二義的な生きがいだというわけだね」

「そういうと、怒り出す人がいるかもしれないが」

「われわれの世代は最早社会的な価値を主張できないのだから、何を生きがいにしても許されるのではなかろうか」

「そう願いたいね」

(2018)

### 参考資料:

A・H・マズロー (小口忠彦訳) 「人間性の心理学」(1987年、産業能率大学出版部)

A. H. Maslow 'Motivation and Personality' (Second Edition, 1970, Harper & Row Publishers, Inc.)

\*\*\*\*\*

## 『誰も見ていなくても悪いことをしない社会-その3』

臺 一郎

### 『150年前も、誰もいなくても悪いことをしない社会だった』

『誰も見ていなくても悪いことをしない』という日本社会の美德や民度の高さは何も今に始まったことではない。実は今から150年前、開国間もない幕末の我が国や維新間もない明治期の我が国を訪れた欧米人は、日本社会の治安の良さや一般庶民の正直さに大いに驚き感心した。

例えば幕末の1857年に来日し、長崎の医学伝習所で教えたオランダ海軍の軍医ユハネス・ポンペは、著書の中で『自宅のドアに鍵をかけるなど、全く念頭にも浮かばなかった』と述懐している。

英国の帆船トロアス号の船長ヘンリー・ホームズは1859年に初めて長崎を訪れた際に、早朝の庶民の家を勝手に訪れたときのことを『この早朝の訪問は、利益があったばかりではなく、面白かった。人々の家の中での生活を、もっと見る事が出来た。多くの人々が眠りから覚める前に、わたしは既に街に入っていた。家の中に入るためには、引き戸をひくだけで良かった。錠も門もかけられていなかった。このように安全に生活できる人々は、実に幸福だと思う』と見聞記の中で述懐している。

またイギリスのエルギン卿使節団の団長秘書であったローレンス・オリファントは、東京の宿舎芝西応寺に滞在中の戸締りや治安について、『我々の部屋には錠も鍵もなく、開放されていて、宿所の近辺に群がっている付添いの人達は誰でも侵入できた。また我々は、日本人なら誰でもが欲しくなるようなイギリス製の珍奇な品々をいくつも並べて置いたが、いまだかつて、全く取るに足らぬような品物でさえ、何かが無くなったと、こぼしたためしがな

い』と感心している。

英国の地理学者で軽井沢を愛したアーサークローは、その著書「日本内陸紀行」の中で、明治 14 年に中山道で目撃した農村や農家の光景を以下のように紹介している。

『ほとんどの村にはひと気がない。住民は男も女も子供も泥深い田圃に出払っているからだ。住民が鍵もかけず、何らの防犯策も講じずに、一日中家を空けて心配ないのは、彼らの正直さを如実に物語っている』と。

日本人の正直さを何度も重ねて紹介しているのは米国の動物学者エドワード・S・モースである。モースの日本での滞在記「日本その日、その日の 1」では次のようなエピソードが紹介されている。

『人々が正直であることは実に気持ちが良い。私は決して札入れや懐中時計の見張りをしようとしな。錠をかけない部屋の机の上に、私は小銭を置いたままにするのだが、日本人の子供や召使は一日に何十回出入りしても、触ってならぬモノには決して手を触れぬ。私の冬の外套と春の外套をクリーニングするために持って行った召使は、間もなくポケットの一つに小銭が若干入っていたのに気が付いてそれを持ってきたが、また今度はサンフランシスコの乗合馬車の切符を 3 枚持ってきた。この国の人々も所謂文明人としばらく交わっていると盗みをすることがあるそうだが、内地にはいると不正直というようなことはほとんどなく、条約港においてさえも稀なことである。日本人が正直であることの最も良い実証は、3000 万人の国民の住居に錠も鍵も門も、いや錠をかけるべき戸すらも無いことである』(これはモースの誤解と知識不足)

また「日本その日その日の 3」にはモースが広島の旅館に滞在している最中に小旅行に出かけた際のエピソードが紹介されている。

『宿の亭主に、自分が旅行から帰るまで金時計と現金を預かってくれと頼んだところ、亭主は快く承知してくれた。召使が一人蓋のない浅い塗盆を持って私の部屋に来て、それが私の所有品の入れ物だと言った。そこで金時計などを彼女の差し出している盆に入れると、彼女はその盆を畳の上に置いて出て行った。

しばらくの間私は彼女が当然それを主人の所に持って行き、主人は何らかの方法でそれを保護するものと思ってじりじりしながら待っていた。しかし彼女は帰ってこない。私は彼女を呼んで、なぜ盆をここに置いていくのかと尋ねた。彼女は、ここに置いてもいいのですと答える。私は主人を呼んだ。彼もまた、ここに置いて絶対安全であり、彼はこれ等を入れる金庫も、他の品物も持っていないのであると言った。未だかつて、日本中のいかなる襖にも、錠も鍵も門も見ることがない事実からして、この国民がいかに正直であるかを理解した私は、この実験を敢えてしよう決心し、恐らく私の留守中に何回も客が入るであろうし、家中の召使でも投宿客でもが、楽々と入り得るこの部屋に、蓋のない盆に銀貨と紙幣で 80 ドルと金時計を入れたものを残して旅に出た。

我々は一週間にわたる旅をしたのであるが、帰ってみると、時計はいうに及ばず、小銭の 1 セントに至るまで、私がそれらを残して行った時と全く同様に、蓋のない盆の上に乗っていた。米国や英国の旅館の戸口に張ってある

印刷した警告や訓警の注意書きを思いだし、それをこの経験と比較する人は、嫌でも日本人が生得正直であることを認めざるを得ない。しかも私はこのような事例を沢山挙げることが出来る。日本人が我が国へ来て、柄杓が泉水飲場に鎖で取り付けられ、寒暖計が壁にネジで止められ、靴拭いが階段に固着してあり、あらゆる旅館の内部では石鹸やタオルを盗むことを防止する方法が講じてあるのを見たら、定めし面白がることであろう』と。

\*\*\*\*\*

## ＜そうだ京へ行こう・古刹の花物語＞（60）

大竹漢洲

### 北野線の古刹4・竜安寺

竜安寺まで“きぬがけの道”を歩きながら考えていました。過去50余年の間に竜安寺に幾度足を運んで山門を見上げたことか？ 竜安寺の方丈の間から石庭に幾度向かい合ったことか？ 何も悟らずに石庭を幾度後にしたことか？ それでも石庭と対峙したい気持ちが湧いてくる。竜安寺は不思議な寺だ。

何故だろうか？ 石庭は宇宙に違いない。「油土壁」に囲まれた空間が小宇宙の銀河系で上に広がる空間が大宇宙だ。我々が住む地球は、石庭の白沙の一粒に過ぎない。決して悟ったわけではない。この様に考えると気楽な気分になる。竜安寺は不思議だ。

竜安寺門前で見上げる山門は、俗界と仏界とを隔てる結界に建てられています。かつての大寺院として構えていた風格に欠ける感じがします。竜安寺は、円融天皇の勅願寺、円融寺の在った処とされています。平安末期には藤原実能が別荘を建て、敷地内に一幸を建立して徳大寺と称していました。

宝徳2年（1450年）。細川勝元が徳大寺家の山荘を譲り受けて、妙心寺の義天玄承を招いて、勝元の子政元が建立した寺院が「竜安寺」の始まりであると言われていています。この「竜安寺」も「応仁の乱」で悉く焼失してしまいましたが、直ちに再建され江戸時代には塔頭の数が21もある大寺院に変わっていました。

しかし大寺院は再び火災に見舞われ数多くの堂宇と塔頭を失い、竜安寺は現在目にするまでの伽藍に減少しています。大寺院の風格は、火災と共に消失してしまいました。諸行無常も世の常です。失ったものを嘆いても仕方ない。最近、“がん”の体が常態と考えられるようになりました。これも悟りかな！

有名な竜安寺の「石庭」を何時？ 誰が？ 作庭したのか？ 細川勝元の子、政元が、竜安寺を建立した時期の中国大陸には大きな歴史的な動きがありました。北から北方遊牧民「金」が南下して、漢民族国家の宋朝は、揚子江以南に拠点を移して南宋として建国しています。この後、南宋はモンゴル民族に攻め滅ぼされてしまいます。

南宋の滅亡を機にして、多くの文化人が日本に亡命してきました。文化人の中には禅僧も多数混じっていました。禅僧の影響力が大きな理由です。興味が尽きませんが、旅人にとって大きな疑問が残ったままです。何れにしても「等持院」が「不思議な寺」の代表とすれば、「石庭」は「謎」に満ちている庭の代表でしょう。

数年前、中国大陸を旅して、天台山、五台山周辺の、禅寺を訪ね歩きました

たが、方丈に庭園のある寺院は、皆無でした。禅宗の思想は、禅僧と共に日本に移入されたことは歴史が証明していますが、禅の思想を端的に表現していると言われている「枯山永」は日本的な禅発想で誕生したのでしょうか？矢張り「竜安寺」は謎の寺です。

山門を潜ると左手に「竜安寺」の伽藍には相応しくないような大きな池があります。意図的なのか？自然に任せているのか？樹木が伸びて見え難くなっていますが、樹々の間から覗くと、中央に弁天島のある大きな鏡池です。池に沿うようにして参道が庫裏まで続いています。この鏡池の周囲には、季節を彩る樹木が植えられていて、春の桜、秋の紅葉は、鏡のような池に美しく映し出され、その光景は忘れ難い姿です。

庫裏に上がる参道は石段に変わります。この石段の両側には「竜安寺」でしか目にすることの出来ない「竜安寺垣」が編まれています。「石庭」にしか関心のない人たちには「竜安寺垣」の職人技には気がつかないはずですが。編み方に技術と経験が欠かせません。上下を大割竹で支え、間を細竹を斜めに格子状に編んだ垣根です。しかも石段の傾斜に沿うような、斜めの垣根です。

東京農大成大成人学校の講座と実技で、竹垣根の編み方を習いました。何事も経験が必要です。旅人の motto は、「百聞は一見にしかず」です。

庫裏で靴を脱ぐ時間も惜しむように、俗人たちは競って、足早に「方丈の間」は素通りして、脱兎の如く広縁に向います。恰も映画館の席を確保するように広縁の中央に座る位置を確保したい気持ちが表れています。

「竜安寺」の本堂の構図を詳しく説明すると、方丈の間は庫裏の西側に位置しています。寛政9年(1797年)に火事で焼失した後、塔頭の一つ西源院の本堂を移築した建物と言われています。「石庭」は方丈の間の南側に位置しています。「石庭」の構成は、改めて説明するまでのことはありません。

幅 22m・奥行 10m で庭の面積は広くありません。僅か 75 坪です。大きく見えるのが不思議な作庭です。白砂の空間に 15 個が五つの群にして、ぽつんぽつんと配されています。石庭内には草木類が一本も植えられていません。それだけ簡素な印象を与えて、想像の豊かさの違いで、色々の解釈ができる「謎」の庭が「石庭」の所以です。

昔から「石庭」は、“虎の子渡しの庭”とか“七五三の庭”とか呼ばれてきました。禅の精神を表している様です。小さな事でも気になる性格なので、調べてみました。「石庭」には色々の解釈が可能のようです。

空間で宇宙を、白砂の波紋で水を。

白砂は海を、15 個の石は島と鳥を表現

無限の広さと、永遠の生命を象徴

大海や雲海に浮かぶ島々と高峰

「心」という字と配石。

中国の五岳、日本の五山の象徴

禅を学ぶ僧にとっての「公案(禅宗で

参禅者に示して坐禅工夫させる課題)」。

「石庭」の最大の謎は 15 個の石の配置です。石は狭い空間に 7・5・3 の塊で置かれて「七五三配石」と言われています。謎は次です。方丈の間どの位置に立って見ても、必ず一石は、他石に隠されて見えません。不思議です。



禅宗が伝えられた中国の数字思想が影響しているとも考えられます。中国では十五夜で象徴される様に十五は完全な数字です。しかし「物事は完全に達した時から崩れる」との考え方に基づいて、敢えて十五全石を見せずに、一石隠して十四石に工夫したとも伝えられています。

しかし、禅を修行している「竜安寺」の僧侶でも「これが正統な見方である」と主張するのは、禅問答のようで難しいらしい。これが結論です。

人間は環境の動物で、しかも思考は常に変化している。「石庭」を訪れるたびに、解釈が変わっても当然なことです。この「石庭」の作庭には深い意図など毛頭無く、“わざと多義的な意味”を含んで作庭された庭と考えれば、心が軽くなります。人間は死ぬまで精神的、思想的に生長し続ける動物です。「石庭」は自分の鏡です。その時の精神的な成長で答えが得られます。答は一つでも無く五つでもありません。広縁に座り込んだ人々の数だけの答があるに違いありません。

「石庭」を撮影するには工夫が必要です。最初は広縁の左端に座り、油土塀の角に向けて庭を斜めに低い構図で1カット。この構図は遠近法の悪戯で油土塀の地が低く感じます。広縁の正面から、庭全体と油土塀上端の構図で1カット。正面の構図では、決して右角地は低くならないませんが、錯覚で低く見えます。不思議です。最後は広縁の右に座り、燻んで味わいのある油土塀の外に咲く桜紅枝垂れ桜と白砂に浮かぶ島々を縦の構図の都合3カットで、無限の広さを感じさせる「石庭」を小さなデジタルカメラに収めることができます。普通のデジカメのレンズでは、「石庭」全景を正面から撮影するのは不可能です。携帯電話での撮影は控えた方が宜しいかと思います。

歳を重ねても何ら悟れない未熟な旅人が、方丈の間を離れる際に、常に我が身を省みて納得させられる漢語に出会います。方丈の間北側にある「つくばい」表面に書かれてある文字には、中央の「口」を共通にして「吾唯足知（吾ただ足るを知る）」です。禅の格言を図案化して表現したものです。戒めの言葉としては、これ以上の言葉はありません。この「つくばい」は水戸光圀公から「竜安寺」に贈られたと聞いています。この度の「石庭」との再会でも。”悟り“は得られませんでした、少しでも長生きして悟りの境地に入ることを願っています。死んでも不可かな？

この「石庭」は、「虎の子渡しの庭」と表現されていますが、この「石庭」が作庭された時期が、平安末期なのか？ 室町時代なのか？ それとも江戸時代なのか？ は確定されていません。何れにしても日本に虎が棲息していた事実はないし、加藤清正が文禄・慶長の役で“虎”退治をした逸話は残されていますが、“虎”の生態まで詳しく知っていた人は、例え僧職であってもいなかったに違いありません。“虎”と“ライオン”とは、生態に違いがあると思います。かつて南アフリカの旅で、ジンバブエの国立自然公園でサバンナの河を渡る母ライオンと二匹の仔ライオンの様子を目にする機会がありました。結論から言うと、母ライオンは、仔ライオンを庇って河を渡ることはありませんでした。

母ライオンは、仔を此方岸に置き去りにして、さっさと向う岸に渡り、各々の仔ライオンに対して、自ら河を泳いで渡るように促しています。向う岸の母ライオンは腹這いの姿体で仔ライオンの様子を観察している様子です。

一匹の仔ライオンが恐る恐る河に入り、犬かき泳法で渡り始めました。河の流れが強くて流されています。母ライオンは全く動じません。やっと一匹は渡り切りました。母ライオンは濡れた毛を舐めて大気を取って上げています。此方岸に残されて一匹は猫のような鳴き声で母ライオンの助けを求めています。母ライオンは全く関心を示しません。諦めたのか？ 置いて行かれるのに恐ろしさを感じたのか？ 渋々片足から河に入れて、最後は飛び込む姿勢で渡り終えました。感動したので良く記憶しています。”虎“も野生動物であるので同じ動をするに違いはありません。野生動物は自力で生きなければ敗者です。敗者は”死“を意味します。

旅人には「虎の子渡しの庭」は見てきたような「嘘」にしか見えません。庫裏を出て参道の石段を下りました。帰りは鏡容池を山門まで右回りに戻ることになりました。この道の奥には回遊庭園が潜んでいます。時期が良いと枝垂れ桜と八重桜の競演を見ることができます。

山門を出た所で、学生時代に入った麺類店を思い出しました。北野線、かつての「竜安寺駅」で降りて、北に向かって上って、“きぬかけの道”に出る左側に在った記憶のある麺類店でした。夏の暑い盛りに歩いてきた空腹を癒すために、“おおもり”を食べた記憶があります。何を食べても美味しく感じた年頃です。懐かしさで陣店を探しましたがありませんでした。近くに湯葉の店、がありました。”きぬかけの道“を走る市バスに乗り、仁和寺に向かいました。

\*\*\*\*\*

## 文化講座・講演会

\*\*\*\*\*

### 奈良興寺文化講座 2019年3月7日(木曜日)

午後5時半～6時半：第一講

「写経と書道芸術」

書家 柳田泰山

午後6時40分～7時・・・心を静める

午後7時～8時：第二講

連続講話・「奈良・祈り・心」

興福寺 貫首 多川俊映

会場：(学)文化学園 文化服装学院内

受講料：500円 先着200名

(JR新宿駅南口、小田急線、京王線各新宿駅から8分、都営新宿線新宿駅3分)

\*\*\*\*\*

### 第104回 新三木会 講演会のご案内

1. 日時 3月21日(木)(祝祭日決行) 13時～ オリオンルーム

2. 講師 渡辺 靖氏 慶応義塾大学 SFC 教授 文化人類学、アメリカ研究

3. 演題 『アメリカ「トランプの国」はいつまで続くか』

4. 申込 Eメール：[shinsanmokukai@gmail.com](mailto:shinsanmokukai@gmail.com)

電話：070-6994-0137 フルネーム・卒年・所属(紹介者)記入。

天地シニアネットワークで申し込んでください

5. 会費 一般2千円、婦人千円、学生(院生)無料、茶話会ありません

6. ホームページ <http://jfn.josuikai.net/ircle/shinsanmokukai/>

7. 今後の予定

第105回 4月18日(木)『日本の社会主義—戦前の思想・運動と群像』  
加藤哲郎氏 一橋大学名誉教授 政治学

第106回 5月16日(木)『メルケル時代の終焉、ドイツ・EUの今後』  
早瀬 勇氏 全国日独協会連合会副会長 元星稜大学学長  
一橋大学 s 34年卒 西独ゲッティンゲン大学留学

8. 特別講演懇談会 3月4日(月) 12:00-15:00

『日本近代の群像・山縣有朋と原敬』

泉 三郎 近代史研究家 34年卒 (昼食付、3千円、) 富士の間

新三木会代表幹事 則松久夫 070-6994-0137 090-3813-0137

\*\*\*\*\*

商品情報

\*\*\*\*\*

徳島県・吉野川市・美郷

<東野リキュール製造所>

NO	商品名	(特徴)	製造元	価格
1	梅酒 白竜峡	酸味を抑える女性向	東野リキュール製造所	@ 2500円
2	高越山	渋みが少しあり、酒好きな方向き		@ 2500円
3	紅竜峡	ロゼワインを彷彿させる		@ 2500円
4	ホーホケキョ	特選		@ 3000円

ご注文は、東野リキュール製造所へ直接お申し込みください。天地シニアで知りましたと伝えてくだされば結構です。

代金は、消費税と送料(500円)がプラスになります。お支払いは、商品受け取り時、宅配業者へ代引きで(手数料なし)直接お支払い下さい。

東野リキュール製造所：電話・0883-43-2216  
FAX・0883-43-2212

日本緑茶センター 商品

商品名	市価	天地幹旋価格
ハーブティー		
POMPADOUR ドイツ商品 (1.5g x 10ティーバッグ) <ペパーミントリーフ><カモミールフラワー><ローズヒップ&ハイビスカスフラワー><ルイボステイヤー・ストレート>	本体 @ 300円	@ 230円
紅茶		

ドイツのティーメーカー・テーカー社製 オリジナルブランド紅茶シリーズ（1.75g×20TB） <ダージリン><アールグレイ><イングリッシュブレックファースト>	@500円	@380円
日本緑茶センター：ティーブティック（2g×10TB） <セイロン><ローズヒップ&ハイビスカスフラワー><ピーチアプリコット><ローズティー><ブルーベリー>	@350円	@280円
<b>マテ茶（南米のお茶・世界三大飲料の一つ・パラグアイ）</b>		
ティーブティック・1.5g×10TB <マテ・グリーン><マテ・ブラック>	@380円	@300
<b>アルガンオイル（92g）</b> （モロッコ特産） <b>ノンロースト・タイプ</b> （食用・化粧両用）	@2000円	@1500円
<b>オリーブオイル [ナフィサ]</b> （229g） モロッコ、名門農園の製品。高級。 赤（インテンス）：ドライ：青（デュース）：スイート	@1800円	@1400円
<b>ジェーン・クレージーソルト（113g）</b>	@627	@500円

お申込み金額が、4千円以上の場合は、送料は天地で負担します。  
お申し込みは、メール、または電話・FAX でお願ひします。

\*\*\*\*\*

## 事務局

\*\*\*\*\*

<投稿><図書のおすすめ>を歓迎します。

<プリント版・郵送>

メール版を編集してプリント版を月に1回発行郵送しています。

お申込みくださればお送りします。一応、実費として1月350円（4200円/年）をいただいておりますが、強制するものではありません。

<振込先>振込先：三井住友銀行「神田支店」（普通）7871532  
（口座名）テンチシニアネットワーク

天地シニアネットワーク・テーブル・488号

発行：2019年2月15日

天地シニアネットワーク事務局（津田 孚人）

〒116-0001 荒川区町屋3-2-1

ライオンズプラザ町屋703

メールアドレス：[tentisenior06@gmail.com](mailto:tentisenior06@gmail.com)

電話・FAX・03-3819-7651